

TAKARA RANGEHOOD FAN

タカラレンジフードファン

ホーロー整流板付シリーズ

取扱説明書

型式

ホーローパネル・リモコン付・お手入れサイン機能付

VRN - 606 / 756 / 906

ホーローパネル・リモコン付・常時換気機能付・給気電動シャッター連動形

VMR - 603 RC / 753 RC / 903 RC

ホーローパネル

VMR - 602 / 752 / 902

三分割構造

VUS - 603 / 753 / 903

VUS - 603 H / 753 H / 903 H

(AC100V連動出力端子付・同時給排気対応)

VUS - 603 AD / 753 AD / 903 AD

VUS - 603 BD / 753 BD / 903 BD

(常時換気機能付・給気電動シャッター連動形)

VUS - 603 AJ / 753 AJ / 903 AJ

梁対応

VMH - 602L / 752L / 902L

VMH - 602R / 752R / 902R

VMH - 602AL / 752AL / 902AL

VMH - 602AR / 752AR / 902AR

ライフサポートキッチン対応・リモコン付

VMH - 602RCL / 752RCL

VMH - 602RCR / 752RCR

もくじ

	ページ
1 .安全上のご注意	 1
2 .各部の名称	 3
3 .仕様	 4
4 .使用方法	 5
5 .お手入れのしかた	 6
6 .お手入れサインの機能	 9
7 .リモコンのご使用前準備	 9
8 .故障かな?と思ったら	 10
9 .アフターサービス	 10
10 .保証書	 11

保証書付

このたびはタカラレンジフードファンをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は
いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

タカラ スタンダード株式会社

1. 安全上のご注意（1）

必ずお守りください

- ご使用前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 表示と絵文字の意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。	 	行為の指示（必ずすること） 必ず実行してください。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。	 	禁止行為（してはいけないこと） 絶対にしないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

警 告

- 改造はしないでください。修理技術者以外の人は分解したり修理をしないでください。



分解禁止

火災、感電、けがの原因となります。

- 水につけたり、水をかけないでください。（モーター、スイッチ等の電気部品）



禁止

ショート、感電のおそれがあります。



- 電源は交流100Vを使用してください。



交流100V
使用

交流100V以外の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってから行なってください。また、ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



電源プラグを
抜く

感電やけがをすることがあります。

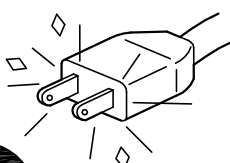


切

- 電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふいてください。



火災の原因になります。

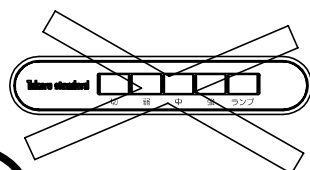


- ガス漏れのときは、スイッチを入れたり切ったりしないでください。



入り切り
禁止

爆発・引火のおそれがあります。

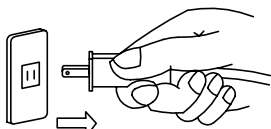


注 意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。



感電やショートして発火することがあります。



- 羽根や部品の取付けは確実に行ってください。



落下により、けがをするおそれがあります。

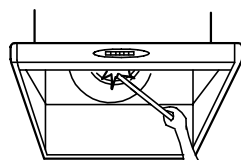


- 運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。



接触禁止

けがをするおそれがあります。

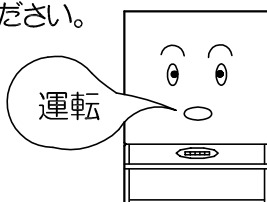


1. 安全上のご注意（2）

必ずお守りください

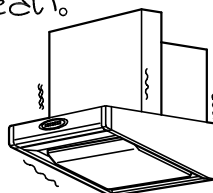
⚠ 注 意

- 加熱器具使用中は必ずレンジフードファンを運転してください。



運転しませんと、本体内の温度が高くなり故障の原因となります。

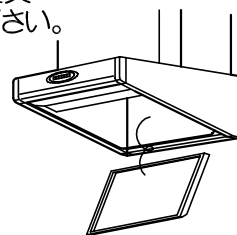
- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しないでください。



禁止

本体、部品の落下により、けがをするおそれがあります。

- 整流板の取付け、取りはずしは確実に行ってください。



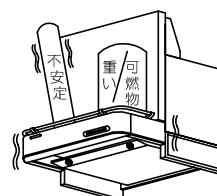
落下により、けがをするおそれがあります。

- 清掃時には、ゴム手袋などをお使いください。



板金の端などで、けがをするおそれがあります。

- フードの天面部には重量のあるもの、不安定なもの、可燃物などは載せないでください。

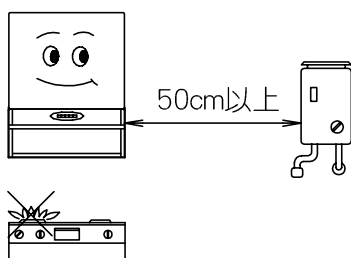


禁止

フード部の落下およびものの落下により、けがをするおそれがあります。

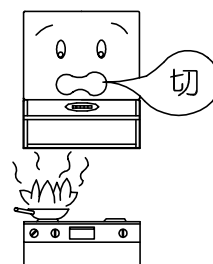
お 願 い

- 高温になる使いかたはしないでください。
■加熱器具の空だきはしない。
■湯沸器の取付けは50cm以上離す。



モータ焼損、排ガスによる塗装面のサビ発生の原因となります。

- 誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、火を消すと同時にレンジフードファンの運転を停止してください。

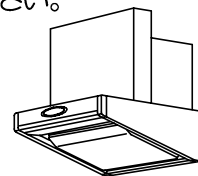


運転していると火の勢いが強くなります。

- 台所の全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

- 吸い込み部分に市販の繊維フィルターなどを取付けないでください。
レンジフードファンの風量低下につながるほか、火災予防条例上、使用が制限される場合があります。

- 空気の入入れ口が必要です。効率の良い換気を行うために空気の入入れ口を設けてください。

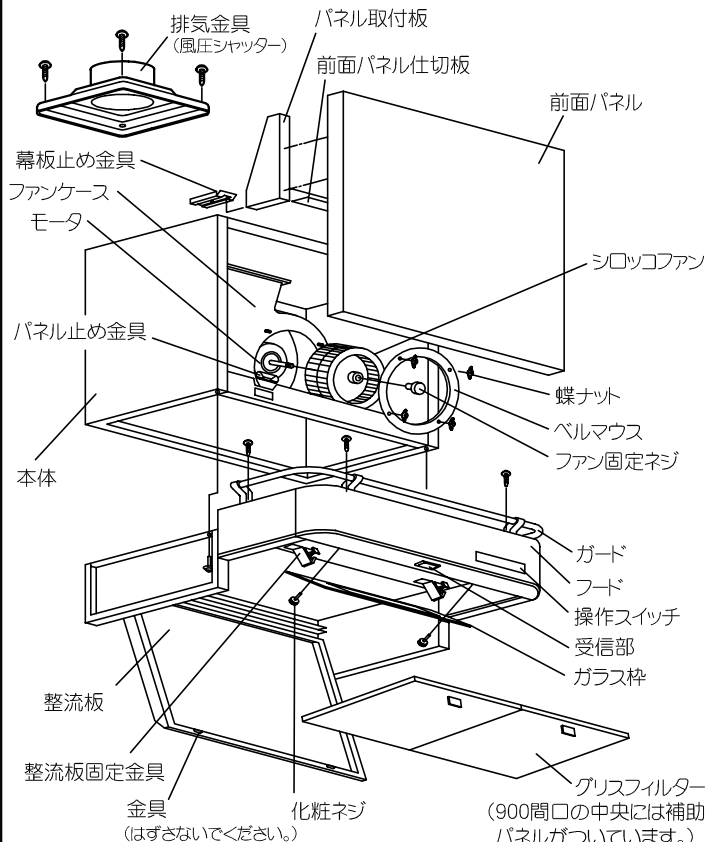


- IHヒータなど表面がガラスの加熱器具をご使用の場合、お手入れの際はガラス面を保護してください。
物が落ちて、ガラスが割れるおそれがあります。

2. 各部の名称（1）

整流板は捕集性能を向上させるためのものです。
取付けてご使用ください。

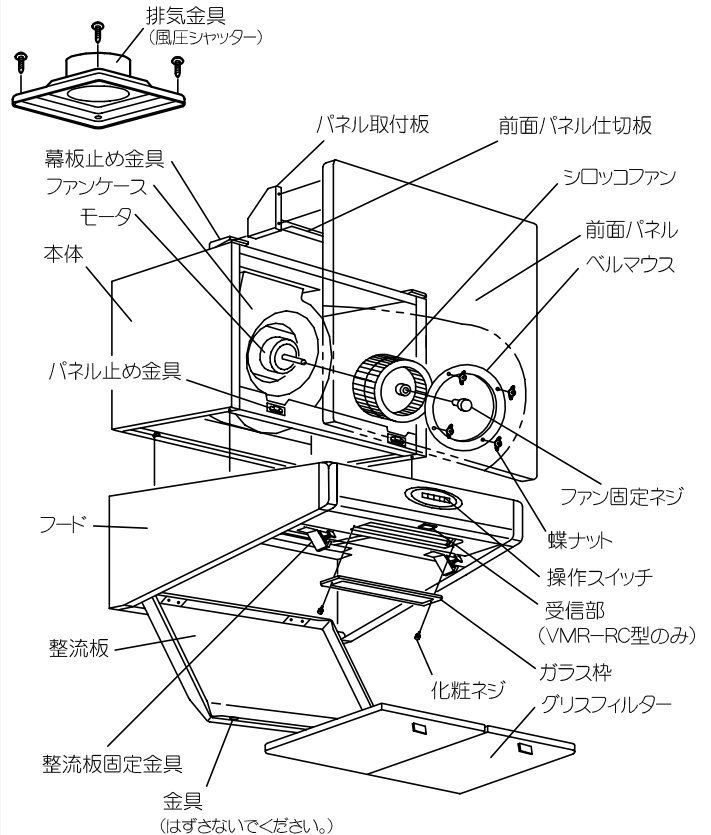
VRN型 (VRN-□□□)



■型式はフード内側に貼付けてある本体表示で確認してください。

VMR-RC型 (VMR-□□□RC)

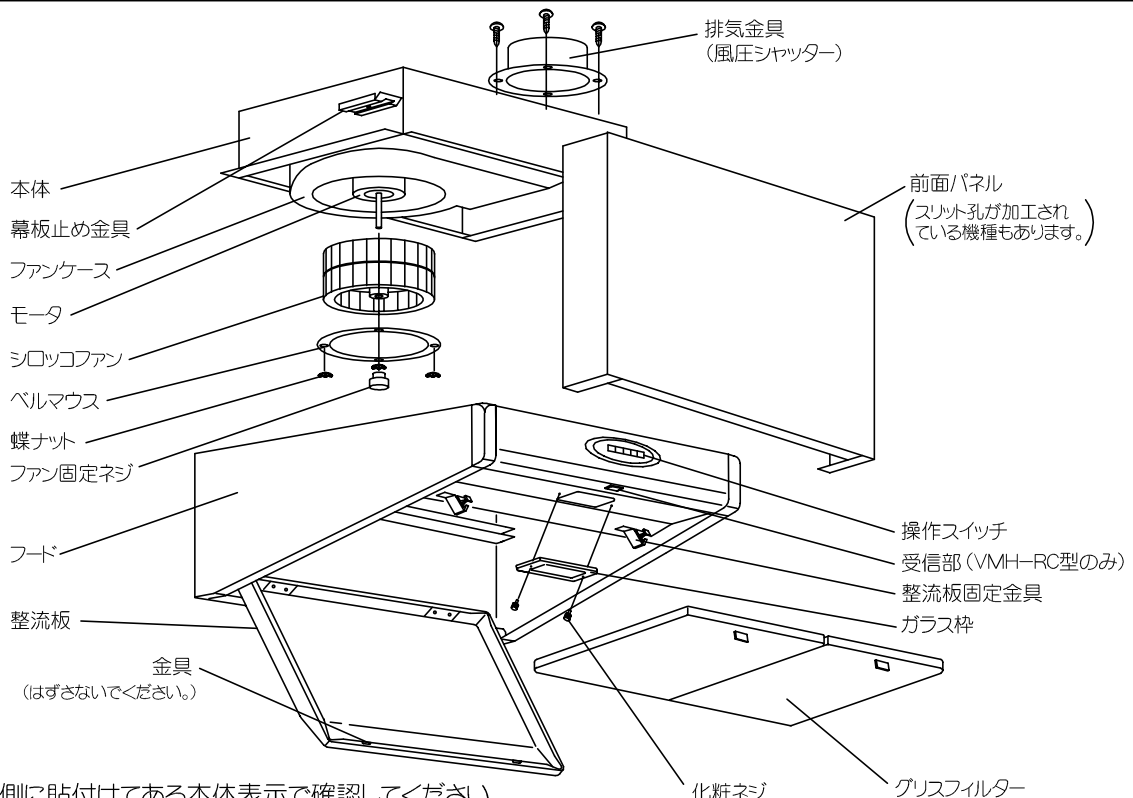
VMR型 (VMR-□□□)



■型式はフード内側に貼付けてある本体表示で確認してください。

VMH型 (VMH-□□□L/VMH-□□□R/VMH-□□□AL/VMH-□□□AR)

VMH-RC型 (VMH-□□□RCL/VMH-□□□RCR)



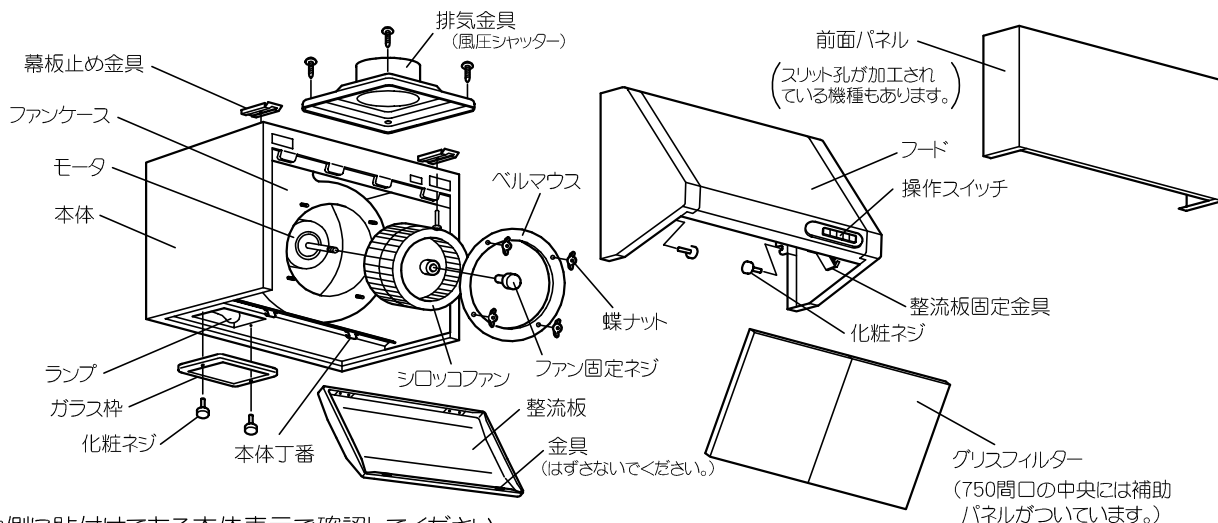
■型式はフード内側に貼付けてある本体表示で確認してください。

2. 各部の名称（2）

整流板は捕集性能を向上させるためのものです。
取付けてご使用ください。

VUS型

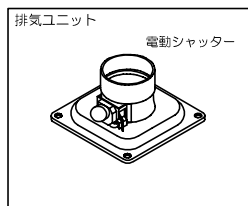
(VUS-□□□／VUS-□□□AD／VUS-□□□BD／VUS-□□□AJ／VUS-□□□H)



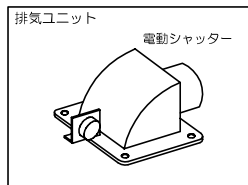
■型式は本体内部に貼付けてある本体表示で確認してください。

※高気密仕様の場合
の排気金具

VUSD丸ダクト金具U



VUSD丸ダクト金具L



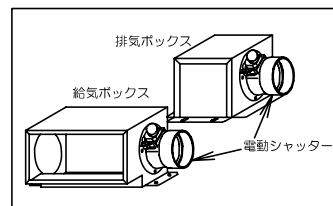
※同時給排気仕様の場合の給排気金具

VUSD給排セットU・UB

VUSD丸ダクト金具U

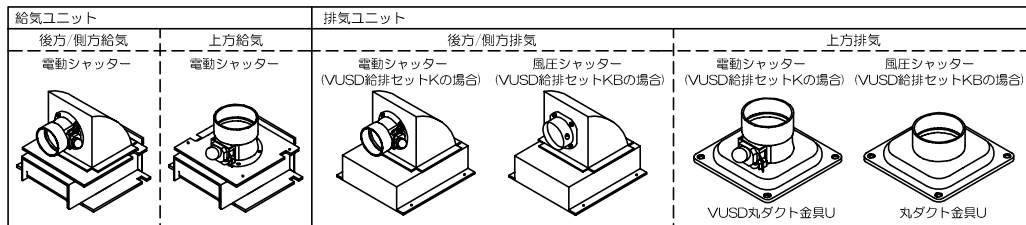


VUSD給排セットY (同側方給排気)



VUSD給排セットK・KB

給気、排気部材は、それぞれの組合わせとなります。



3. 仕様

静圧0Pa時の値です。

■VRN／VMR／VUS／VUS-AD／VUS-BD

定格	風量調整	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	87/97	600/565 [563/543]	43/42
	中	58/57	325/300	31/30
	弱	45/42	220/210	27/27

※同時給排気仕様の「VUSD給排セットK・KB・Y」使用時は
[]内の数値となります。

■VMR-RC／VUS-AJ

定格	風量調整	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	87/97	600/565	43/42
	弱	58/57	325/300	31/30
	常時換気	10/13	130/155	24/25

■VMH-RC／VMH

定格	風量調整	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	100/105	540/520	45/44
	中	66/64	310/290	32/30
	弱	51/49	200/180	27/27

■VUS-H

定格	風量調整	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)
100V 50/60Hz	強	97/107	630/590	44/43
	中	51/53	390/360	32/31
	弱	25/26	245/230	27/27

■重量 (kg)

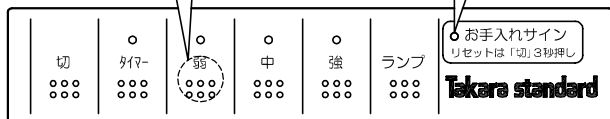
型式 \ 間口	600	750	900
VRN	20	23	26
VMR-RC／VMR	20	25	30
VMH-RC／VMH	18	21	24
VUS	16	18	20

4. 使用方法

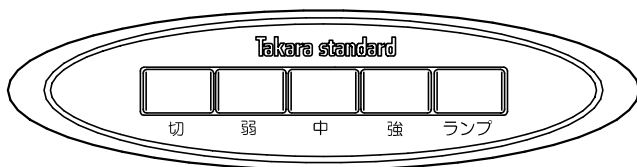
操作スイッチ スイッチボタンを押してレンジフードの運転を選択してください。

VRN型の場合 ◎VRN型はプレートに軽く触れるだけで動作します。

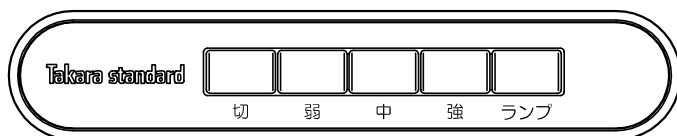
点線内付近を軽く触れるだけでOK。
 グリスフィルターのお掃除時期を点灯してお知らせします。詳しくは9頁をご覧ください。



VMR/VMH型の場合

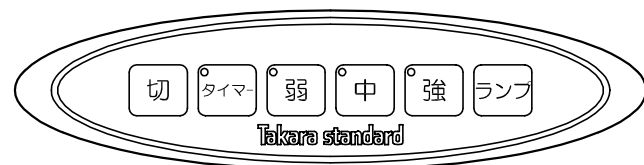


VUS型の場合



※VUS-□□□AJのスイッチは切、常時換気、弱、強、ランプになります。

VMH-RC型の場合



VMR-RC型の場合



リモコンの場合

- ・リモコンのご使用前準備は9～10頁をご覧ください。
- ・VRN、VMR-RC、VMH-RC型にはリモコンが付属されています。

◀VRN・VMH-RC型用▶



◀VMR-RC型用▶



ご注意

- ◎操作スイッチは一つずつ操作し、複数のスイッチを同時に押さないでください。
- ◎操作スイッチは軽く押すだけで作動します。強く押し過ぎないように注意してください。

切スイッチ

レンジフードの運転を停止するときに押します。
 ※VMR-RC型の常時換気スイッチとは連動しません。

強スイッチ

油煙の多いときや、早く換気するときに押します。

中・弱スイッチ

油煙の少ないときや調理後の換気をするときに押します。

ランプスイッチ

照明を点けるときに押します。
 スイッチを押すたびに入/切を繰り返します。

タイマースイッチ

レンジフードの運転(弱・中・強)を数分後に自動停止させるときに押します。調理後の熱気や二オイを排出するときなどにお使いください。レンジフード運転中に設定してください。

設定方法

- ・1回押し「受付音(ピッ)」
 ⇒タイマーの表示ランプが点滅し約3分後に運転停止
- ・2回押し「受付音(ピピッ)」
 ⇒タイマーの表示ランプが点灯し約6分後に運転停止
- ・3回押し「受付音(ピッ)」 ⇒設定解除

※照明はタイマーと連動しません。
 ※常時換気運転はタイマーと連動しません。

常時換気スイッチ

キッチンの全体換気をするときや、調理時以外も二オイや湿気を換気するときにお使いください。24時間少しづつ静かに換気することができます。住宅の全体換気としてレンジフードを使用する場合、調理時やお手入れ時以外は常に常時換気運転をしてください。

VMR-RC型の場合

設定方法 スイッチを押すたびに入/切を繰り返します。

- ・常時換気運転を設定(入)する場合
 ⇒スイッチを押してください。「受付音(ピッ)」
 (常時換気運転開始、常時換気表示ランプ点灯)
- ・常時換気運転を解除(切)する場合
 ⇒もう一度、スイッチを押してください。「受付音(ピッー)」
 (常時換気運転停止、常時換気表示ランプ消灯)



ご注意

常時換気運転中、他の運転スイッチ(弱・強)が押されると、優先的に切り替わります。そのあと、切スイッチが押されたら、自動で常時換気運転に戻ります。常時換気運転を停止する場合は常時換気スイッチを押して設定を解除してください。

※常時換気運転は切スイッチと連動しません。
 ※常時換気運転はタイマーと連動しません。

VUS-□□□AJの場合

設定方法 常時換気運転するときに押します。

※調理の際、運転スイッチを押すと、常時換気運転は解除されます。
 調理後、常時換気スイッチを再度、押してください。

5. お手入れのしかた（1）

■いつまでも快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。

 警告	 本体の切ボタンを押し、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切ってください。感電やけがをすることがあります。
	 モーター、スイッチ等の電気部品には水をかけないでください。ショート、感電のおそれがあります。また、故障の原因になります。
 注意	 掃除の時は、必ずゴム手袋等を着用してください。金属の端面や角でけがをするおそれがあります。

ご 注 意

- ◎塗装の変質、変色、はがれ等の防止のため、みがき粉、ベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、金属タワシは使用しないでください。お手入れには中性洗剤をお使いください。
- ◎部品取りはずしの際は落下させないように注意してください。

お 願 い

- ◎レンジフード用コンセントは前面パネル内側の後壁に設置されています。電源プラグを抜くときは前面パネルをはずす必要があります。前面パネルのはずしかたは7頁をご覧ください。
- ◎グリスフィルターに油、ほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。約2ヶ月に1度を目安として掃除してください。



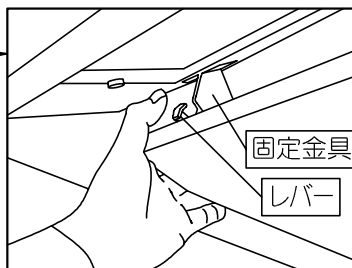
整流板の開けかた、閉めかた、はずしかた

ご 注 意

- ◎調理後は整流板が熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。
- ◎整流板は重量があります。整流板の取付け・取りはずしの際、落下させないようにご注意ください。
- ◎整流板を開けるときは、途中で手を放さないでください。壁面にあたり壁面や整流板を傷めることがあります。
- ◎整流板に取付いている金具などを掃除する際は、ゴム手袋などを必ず着用してください。

整流板の開けかた

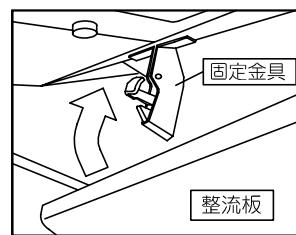
1. 図のように両手で整流板をしっかり支えます。
2. 指で固定金具のレバーを下げます。
 - 整流板の金具が固定金具からはずれます。
3. 整流板を両手で支えたまま、後側へゆっくり下げます。



整流板の金具は取りはずさないでください。整流板の金具を掃除する際は金具の端面に注意してください。

整流板の閉めかた

- 固定金具に向かって整流板をゆっくり押し上げます。

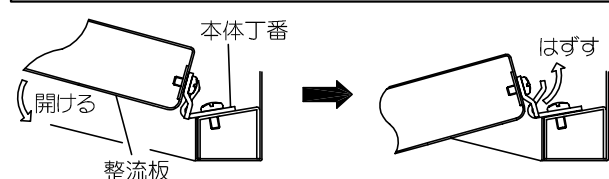


- ◆整流板を閉めた後、確実に固定金具に掛かっているか、確認してください。整流板の中央を片手で持ち、軽く下へ引っ張り、はずれないことを確認してください。

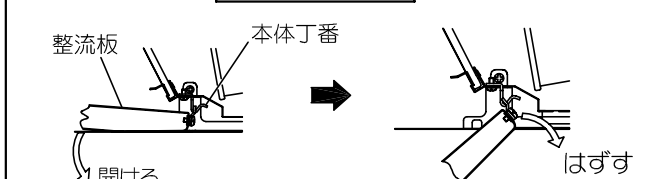
整流板のはずしかた

- 下図のように整流板を本体丁番からはずしてください。(注) 本体丁番のネジは、はずさないでください。

VRN/VMR-RC/VMR/VMH-RC/VMH型の場合



VUS型の場合



整流板の汚れは

- 整流板の掃除は、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう十分にふき取ってください。

5. お手入れのしかた（2）

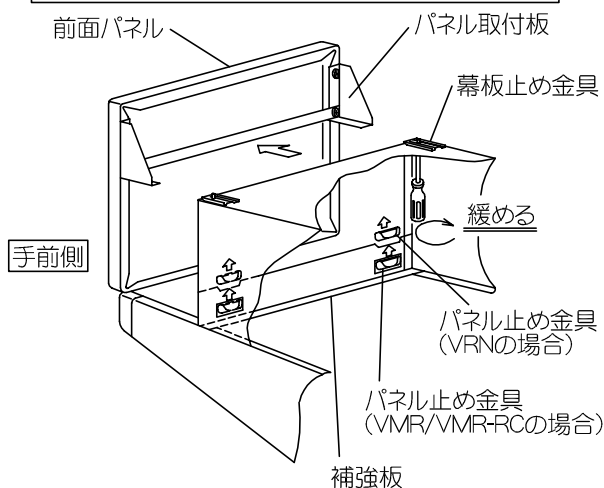
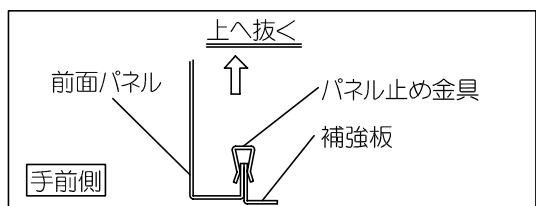
前面/パネルをはずすには

ご 注 意

◎前面/パネルはかなりの重量がありますので、取扱いには十分ご注意ください。

VRN/VMR-RC/VMR型の場合

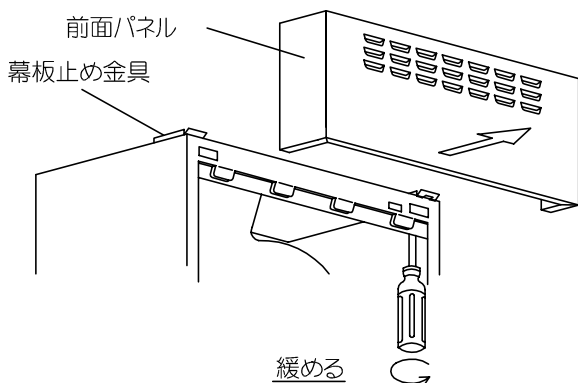
1. 本体内側より幕板止め金具を止めているネジを少し緩めてください。
2. 前面/パネルの下側は/パネル止め金具で、はさみ込んでいますので、上方へ抜いてください。



3. 前面/パネルを手前に引いてください。

VUS/VMH-RC/VMH型の場合

1. 本体内側より幕板止め金具を止めているネジを少し緩めてください。
2. 前面/パネルを手前に引いてください。



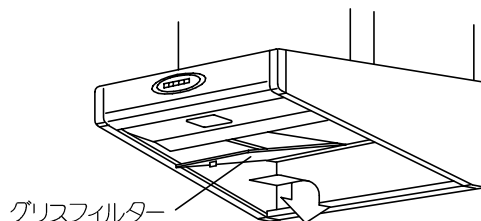
グリスフィルターをはずすには

ご 注 意

◎取りはずす際は、グリスフィルターに手をそえて、落とさないようにご注意ください。

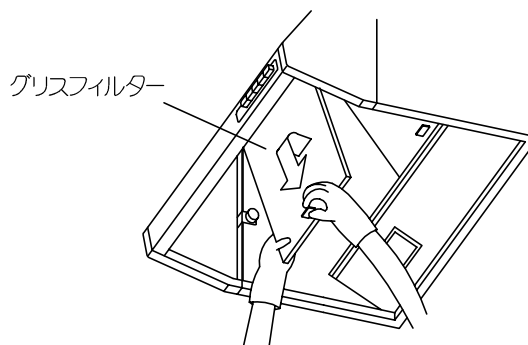
VRN/VMR-RC/VMR型の場合 VMH-RC/VMH型の場合

- グリスフィルターはつまみを持って奥へ押すようにして、手前側の溝からはずしてください。



VUS型の場合

- グリスフィルターはつまみを持って押し上げるようにして、下の溝からはずしてください。



グリスフィルターの汚れは

- グリスフィルターは中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸しておいてから、金属以外のタワシで汚れを落としてください。
(中性洗剤以外では変色する場合があります。)



ご 注 意

◎グリスフィルターは変形しやすいものですから、取扱いには十分ご注意ください。

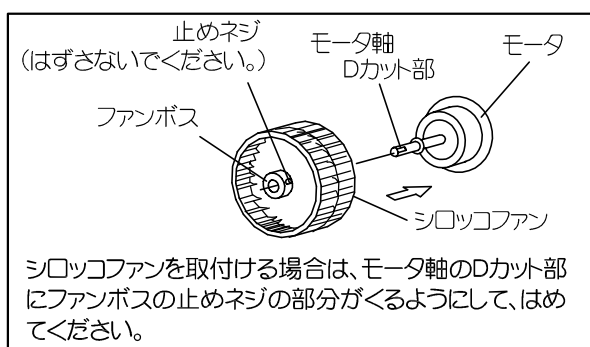
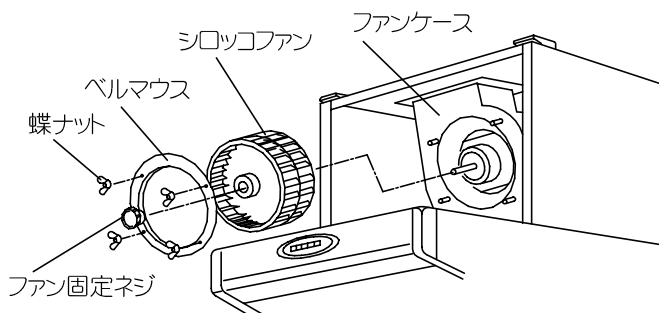
前面/パネルの汚れは

- 前面/パネルの汚れは、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように十分にふき取ってください。(中性洗剤以外では変質、変色、はがれが発生する場合があります。)

5. お手入れのしかた (3)

シロッコファンをはずすには

1. ベルマウスの蝶ナット(4本)をはずしてください。
2. ファン固定ネジを「ゆるむ」の方向へ回してください。
3. シロッコファンを手前に引き抜いてください。



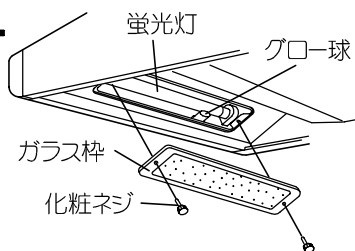
シロッコファンの汚れは

1. 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中でタワシなどで汚れを洗い流してください。
2. 水分がなくなるまでふき取り、乾燥させてください。



ランプの取替えは

1. 2本の化粧ネジをはずしてください。
2. ガラス枠をはずしてください。
3. 蛍光灯、電球をはずしてください。



指定交換部品

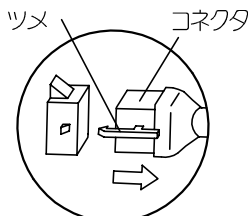
VRN/VMR/VMR-RC型の場合	VUS型の場合	VMH-RC/VMH型の場合
● 蛍光灯 : 15W直管タイプ ● グロー球 : FG-1E	● 電球 : 40W白熱電球 (口金:E-26)	● ミニ電球 : 40Wミニ電球 (口金:E-17)

フードをはずすには

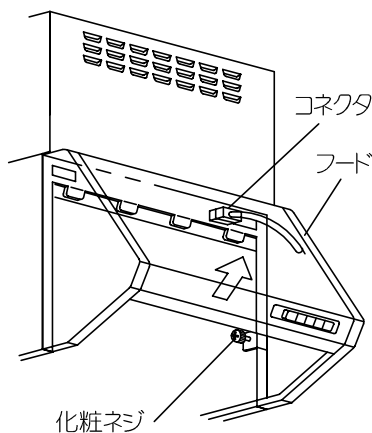
VUS型の場合

1. フード内上部のコネクタを抜いてください。

(コネクタのツメを押さえながら抜いてください。)



2. フードと本体を止めている化粧ネジを少し緩め、フードを少し持ち上げるようにして、はずしてください。



本体、フードの汚れは

ご 注 意

◎モータ、スイッチ等の電装部品には絶対に水をかけないでください。

- 本体、フードの掃除は、中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。



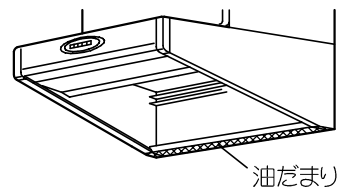
油だまりの清掃

ご 注 意

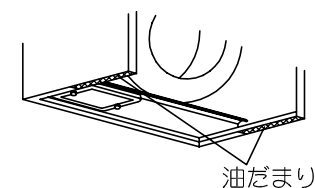
◎清掃を怠りますと溜まった油が滴下してくることがあります。

- 右図の部分に油が溜まる構造になっています。月に1回程度、油をふき取ってください。
- 油だまりの清掃は中性洗剤を浸した布で汚れをふき取ってください。

VMR/VMR-RC/VMH-RC/VMH型の場合



VUS型の場合



お手入れ後の組立と点検

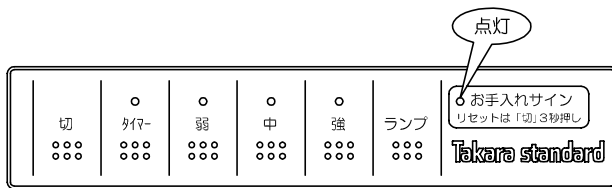
- ◎お手入れが終わりましたら、取りはずしと逆の順序で組立ててください。
- ◎各部品は十分に乾燥させてから本体に取付けてください。
- ◎操作スイッチの各スイッチを押して運転動作を確認してください。

6. お手入れサインの機能

VRN型のみ

使用方法

●VRN型にはグリスフィルターのお掃除時期をお知らせする機能があります。いつまでも快適にご使用いただくために、お手入れサインを目安にいただき、定期的にお手入れしてください。



1. グリスフィルターのお掃除時期がきたら、お手入れサインの表示ランプが点灯します。
2. グリスフィルターをお掃除してください。
●お掃除は6～8頁(お手入れのしかた)の内容に従ってください。フード内側の汚れも同時に拭き取ってください。
3. お掃除後、切スイッチを3秒間タッチして、表示ランプを消灯させてください。

お願い

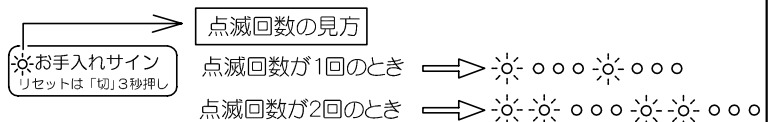
- ◎お手入れサインはレンジフードの使用時間と使用回数から算出して出します。初期設定(工場出荷時)は標準設定(約30日)になっています。
- ◎レンジフードの使用条件により、グリスフィルターの汚れの進み方はご家庭ごとで異なります。お手入れサインが早かったり、遅かったりする場合は期間設定を変更してください。
- ◎コンセントを抜いたり、電源ブレーカを切ったり、停電があった場合、設定は初期設定に戻ります。期間設定を変更していたら、設定し直してください。

お手入れサインの期間設定を変更する場合

1. レンジフードの運転を停止してください。
2. 切スイッチを15秒間タッチしてください。
●タイマー表示ランプが点滅し、設定モードが開始します。
⇒受付音(ピッピッピッ)
●切スイッチから指を離すと、設定モードが終了するので、タッチし続けてください。
3. 切スイッチをタッチしながら、タイマースイッチを1回ずつタッチして、期間設定を変更してください。
●タイマースイッチを1回タッチする毎に、下のように期間設定が順番に変更します。同時に、お手入れサインの表示ランプの点滅回数も変更します。

＜初期設定＞

期 間 設 定 (目 安)	標準 (30日)	やや長め (45日)	長め (60日)	設定無し	短め (20日)
お手入れサインの 表示ランプ点滅回数	2回	3回	4回	0(消灯)	1回



4. 期間設定を変更したら、切スイッチから指を離してください。
●タイマーとお手入れサインの表示ランプが消灯し、設定モードが終了します。⇒「受付音(ピッピッピッ)」

期間設定を確認する場合

1. 切スイッチを15秒間タッチして、設定モードを開始してください。
2. お手入れサインの表示ランプ点滅回数で期間設定を確認してください。
3. 確認できたら、切スイッチから指を離して、設定モードを終了してください。

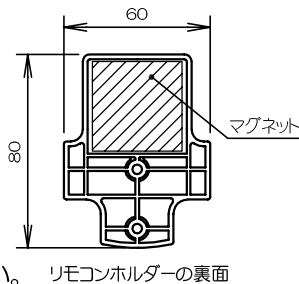
7. リモコンのご使用前準備 (1)

リモコンホルダーの取付方法

●リモコンにはリモコンホルダーが同梱されていますが、ご使用の際にはリモコンを手に持ち、フードの受信部に向けて操作してください。

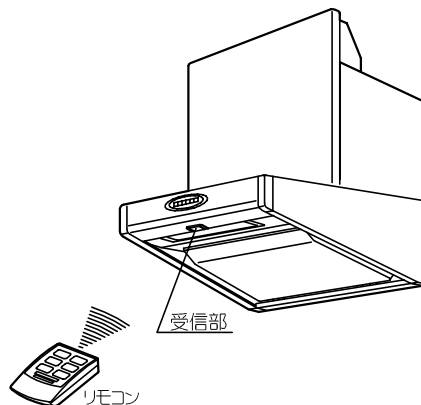
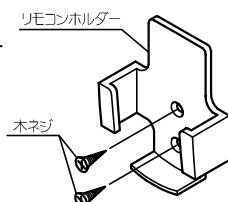
取付方法1 マグネットによる取付け

1. リモコンホルダーの裏面をよくふき、付属のマグネットの両面テープをはがし、所定の位置に貼り付けてください。
2. ホルダーの準備ができましたら、キッチンパネルなどの金属部分に取付けてください。



取付方法2 ネジによる取付け

- リモコンホルダーの取付位置を決めて、壁などに付属の木ネジ2本で固定してください。



お願い

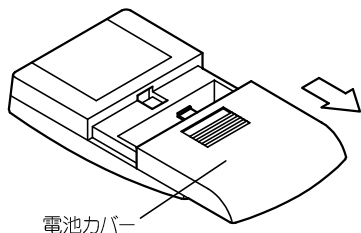
- ◎リモコンを落としたり、衝撃を加えないでください。
- ◎水の中に落としたり、濡れた手で操作しないでください。
- ◎直射日光の当たる場所、加熱器具など高温になる場所の近くには置かないでください。
- ◎リモコンスイッチの信号が届きにくなったときは、新しい乾電池と交換してください。(2本とも交換してください。)
- ◎乾電池の液漏れによる故障をさけるため、長時間使用しない場合は乾電池を取り出してください。

7. リモコンのご使用前の準備 (2)

電池の入れかた

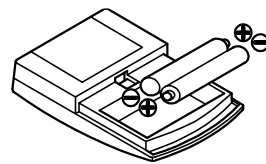
1. 電池カバーをはずす

- ・矢印の方向にスライドさせて電池カバーをはずしてください。



2. 乾電池を入れる

- ・乾電池の極性に注意して、乾電池を入れ、電池カバーを元の通りに取付けてください。



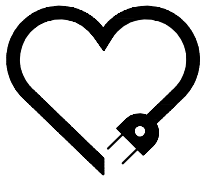
8. 故障かな？と思ったら

修理サービスをお申し付けになる前に、次の点をお調べください。

症 状	原 因
操作スイッチを押してもファンが回転しない。	停電ではありませんか。 ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。
運転中に異常音や振動がする。	本体に前面/パネル、フード、グリスフィルター、ファン、ガラス枠が確実に取付けられていますか。
ランプスイッチを押しても点灯しない。	《VRN/VMR-RC/VMR型》 蛍光灯、グロー球が切れていませんか。 《VUS/VMH-RC/VMH型》 電球が切れていませんか。
換気風量が少ない。	グリスフィルターが汚れていませんか。 空気の入れ口は十分に確保できていますか。
リモコンを操作してもレンジフードが作動しない。 (VRN/VMR-RC/VMH-RC型)	リモコンの送信部、本体の受信部が汚れていませんか。 乾電池が古くなっていませんか。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは操作スイッチを切り、電源プラグを抜くか分電盤のブレーカを切り、販売店にご連絡ください。

9. アフターサービス

愛情点検	長年ご使用のレンジフードファンの点検を!	
	このような症状はありませんか	・スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり、回転しない。 ・運転中に異常音がしたり振動がある。 ・異臭がする。 ・その他、異常を感じる。 このような症状のときは、事故防止のためにすぐ電源を切ってから、お買い上げの販売店または工事店に点検・修理をご依頼ください。

タカラレンジフードファンのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならないときは最寄りの当社支店・営業所にお問合わせください。(別紙添付)
アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名 レンジフードファン
- (2) 型 式
- (3) 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- (4) ご住所、ご氏名、電話番号、道順

補修用部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)